

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03 (3581) 6211 (代表)
定価 1部 110円 (税込み)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

衆議院議員

古川なおき

- 1968年6月31日「野菜の日」生まれ
- 希望ヶ丘高校、明治大学政治経済学部卒業、明治大学公共政策大学院修了
- 横浜銀行、議員秘書を経て旭区より1995年横浜市会議員26歳最年少当選
- 自民党横浜市議団副団長、政務調査会長を歴任
- 2021年10月衆議院議員総選挙神奈川県川6区(保土ヶ谷区・旭区)にて当選

特別対談

自民党横浜市連女性局次長

増永あやこ

- 1989年(平成元年)7月20日聖マリアンナ医科大学横浜西部病院にて誕生(33歳)
- ハツ種幼稚園、東希望が丘小学校、希望が丘中学校 卒業、厚木高校を経て、慶應義塾大学総合政策学部総合政策学科卒業
- 民間企業、小学校教諭を経て衆議院議員古川なおき事務所秘書
- 自民党横浜市連女性局次長

令和4年10月8日、自民党横浜市支部連合会は、市連総務会において、連合支部推薦に基づき、増永純女(ますながあやこ・新人・33歳)さんを、統一地方選挙公認とすることを決定し、同時に自民党横浜市連女性局次長に任命しました。本号では、衆議院議員古川なおきさんと増永あやこさんの対談の様子を特集します。

旭区に根を張って四半世紀

古川なおきさん 増永さんが古川事務所の秘書として活動してから、もうだいぶ時間が経ちましたね。

増永あやこさん 日々の地域のイベントの準備や運営に携わりながら、旭区の方々とお話させていただく中で、地元がさらに好きになりました。地元生まれ地元育ちといえども、知らないことはまだまだたくさんあって、毎日が学びになっています。

古川 政治家は人の話を聞いて、現場を見て、それがあっての政策だから、やはり人と人とのつながりが大切だと思います。そういう意味では毎日朝6時からの駅頭を欠かさず、休日の地域のイベントでの交流も率先して参加している増永さんを、自分の後継者に指名して本当に良かったと思っています。

増永 ありがとうございます。身に余るお言葉ですが、これからも気を引き締めて頑張ります。

古川 自分も初めて当選した時は26歳で、当時は右も左も分からないところからスタートしました。それでも朝の駅頭を欠かさずに続けながら市民の声を拾い続けてきました。今となっては朝の駅前で政治家が話しているのは当たり前かもしれませんが、当時は珍しかったみたいです。

増永 私も幼い頃から、希望ヶ丘駅は毎日のように使っていましたから、古川さんが駅頭をし続けてい



る姿を間近で見えてきました。朝早くから駅に立つ古川さんのことを学生時代何度も目にしていたので、本当に尊敬していました。今でも地域の方に古川さんのお話をすると「朝の駅によく立ってる人ね」と言われることが多く、国会議員になってからも継続している28年の積み重ねがあつての結果なんだと思います。

古川 増永さんとは、ご両親を含め、地元のサッカーイベントを日産スタジアムで開催する際にご一緒させていただいた経緯もあり、もう20年来のお付き合いになりますね。

増永 恥ずかしながら当時の私の中では「すごい政治家のお兄さんがいる」という印象でしたので、こうやってお話ができるようになるとは、夢にも思いませんでした。

「あやことかたろう」 毎週火曜日15時~16時
場所：増永あやこ事務所 旭区中希望が丘199-1

どなたでもご参加可能です！
あなたの声をぜひ聴かせてください！

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘199-1
Email : masunaga.ayako.0720@gmail.com



増永あやこホームページ



Twitter毎日更新中！

政治家になる前のキャリア

古川 私は大学を出てから横浜銀行に勤めて、そこから議員秘書、政治家というキャリアを積んでいましたが、増永さんの社会人経験は多彩ですね。

増永 新卒でリクルートに就職しました。私は住まい領域という、CMでも馴染みの「SUUMO」を媒体とした事業を担当していました。家を購入したいという方々と企業をマッチングするサービスを通じ、**企業の魅力をどう伝え、市場をどう活性化させるかを日々考えていました。**

古川 そういう民間企業で培った感覚は本当に大切ですよ。政治家にとって最も重要なことの**一つは市民・生活する人の視点に常に立つこと**ですが、民間でも「顧客視点」という言葉があるように、相手の立場に立って考えることはどんな仕事でも一緒です。「社会課題の解決」への意識が高いリクルート出身の人材は様々なフィールドで活躍されていますよね。

増永 そうですね。リクルートで経験したことを活かしながら、自分の本当にやりたいことを見つめなおして、新しい挑戦をする人が多い場所だったと思います。私も**教育への想いを捨てる**ことができず、リクルートを退職してから、**小学校教員として働きました**。担任として子どもたちと関わる機会をいただき、その様子がNHKの番組でも特集されました。

古川 日本は資源がなく、人が価値を生み出して生計を立てている国ですから、**人をつくる「教育」は本当に大切です**。教育の現場を経験している人には、ぜひとも政治にもっと携わって欲しいですね。

増永 おっしゃる通りです。小学校の教員の任期を終えてからは、人材育成のプロフェッショナルが集まるベンチャー企業で、お客様の組織開発や人材育成の指導者としてサポートしていました。ここでもリクルートでの経験や小学校で教壇に立っていた経験が活かされました。

古川 最近は大人の学びなおし「リスキリング」が注目されています。今に始まったことではありませんが、**何歳になっても学ぶ姿勢は大切**ですから、大人も子どもも関係なく学びの機会が増えるといいですよ。



これから取り組みたいこと

古川 国会議員1期目の政治家として、地域にしっかり根をはりながら、やはり地元横浜の方々にご支持をいただき送り出させていただきましたから、2025年アフリカ開発会議の誘致や2027年国際園芸博覧会、鶴ヶ峰駅連続立体交差など、**横浜のための取り組みは重視していきたい**ですね。地元への想いは市会議員時代と変わらず、むしろパワーアップして**国と横浜をつなぐ使命**を感じています。

増永 横浜は370万人が住む大都市で、これは四国四県の人口を超えています。**大都市だからこそ政府と連携してやるべきこと、できることもあるのだ**と思います。**地元の国会議員と地方議員がしっかり連携して政策を前に進めていかなければなりません**。

古川 そうですね。地元を大切にする想いは変わりありませんが、日本という国の代表としても、**経済再生、外交・安全保障、少子化問題など、国家の存続をかけた課題にも積極的に取り組まなければなりません**。実際に衆議院議員としての視点で地域の皆様にお話を伺いながら、改めて考え直させられた一年でした。

増永 私は古川さんの秘書として、旭区の方々と交流し、お話しさせていただく中で、**地元がさらに好きになりました**。そんな**地元のため、民間企業の経験、そして教員としての経験を活かし、教育を中心とした街づくりの推進**をしていきたいです。「市民の感覚」「働く世代の感覚」を忘れず、**市民の方の声を誰よりも聞く、現場目線を持った政治家になりたい**ですし、これまでにない新しい取り組みにも積極的にチャレンジしていきたいです。

増永あやこサポートチーム募集中!

①ミニ集会開催の依頼



ご友人を3名以上集めていただけるようでしたら、どこへでもまいります！ぜひ増永あやこを知っていただくきっかけをつくっていただくと嬉しいです！

②ボランティアのお願い

地元でお手伝いをしていただける方を募集しています。平日、休日問わず募集しておりますので、ぜひご協力よろしくお願いします！



- ・時間：(朝) 6:00-9:00 (昼) 10:00-17:00
- ・場所：旭区内にて
- ・仕事：ポスター貼り、ポスティング、駅頭、事務作業 など

③党員の募集



自民党の公認候補予定者として活動していますが、党員がまだ不足しております。ぜひご紹介を、よろしくお願いします！
党員費用 4000円(家族党員2000円)

④ポスターを貼れる場所を教えてください



旭区にポスターを貼らせていただける場所を探しています。皆様に顔を覚えていただきたいのでよろしくお願いします！